

警 察 署 協 議 会 議 事 録

協 議 会 名	令和８年第２回 塩釜警察署協議会
開 催 日 時	令和８年８月７日（金） 午後２時から 午後３時まで
開 催 場 所	塩釜警察署 ３階大会議室
出 席 者 等	１ 協議会委員～９名 出席委員～村上タツ子委員、磯田光貴委員、遠藤紀子委員、 小原盛委員、武山兵記委員、小堤隆委員 我妻才千委員、櫻井和義委員 ２ 警 察 署 側～１３名 署長、副署長、刑事官、副参事、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長
議 事 概 要	別紙のとおり
備 考	

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

別 紙

1 報告事項等

(1) 管内の治安情勢等について（署長）

署長が、令和8年6月末時点における刑法犯認知件数や交通死亡事故等の管内の治安情勢について説明した。

(2) 速度取締りの指針等について

交通課長が、令和8年10月から実施される速度取締り指針について説明した。

2 意見・要望等

委員：横断歩道の歩行者優先がまだ徹底されておらず、子どもの安全な道路横断に心配がある。利府第二小学校で小学生が横断歩道で車が止まった際に横断したが、反対車線を走行してきた車両と衝突した。幸い軽傷であったが心配である。

また、青山小学校の評議員から横断歩道で小学生が道を譲る、礼儀正しいが学校での安全教育をどのようにしているのか。

交通課長：民間の調査結果で宮城県は、令和2年に信号機のない横断歩道の一時停止率5.7%と全国ワースト1位という不名誉の記録を残したものと承知している。以後、交通安全教育、取締りの強化等の対策を取りながら、令和7年の調査では62.1%まで上昇したものと承知している。

昨年県内の歩行者事故の特徴は、歩行者の死者数は15名で全体の約4割を占めており、そのうち道路横断中の事故が約6割を占めている。

管内では、本年6月12日に塩釜市内の信号機のある交差点で横断中の高校生が車に撥ねられ死亡する事故が発生している。小学生の事故は過去3年間で12件発生しており、そのうち道路横断中の交通事故は5件となっている。

小学生への交通安全教育は、本年4月から11校に対して実施している。

横断歩道を渡るときの交通安全教育の内容は

- 横断歩道が近くにあるときは、必ず横断歩道を利用する
- 車両等の直前又は直後の横断、斜め横断はしない

そして、サインサンクス運動として

- 手を挙げてサイン（合図）をして安全確認
- 止まってくれたサンクス（感謝）を伝える

といった教育を実施している。

幼稚園児に対して交番・駐在所で「交通安全とまと」

と：とまる

ま：待つ

と：飛び出さない

といった教育を行っている。

この「交通安全とまと」については、多賀城市の交通指導隊が実施したものである。今後も小学生には、道路を横断するときの危険性を伝え、さらに運転者には横断歩道を通過する際のルールについては引き続き広報啓発を徹底していく。

委員：2026年4月から自転車の交通違反についてのマナー状況が（青切符制度導入から）どう変わったか。

交通課長：本年4月から7月までの県内の自転車利用者が原因の事故は、前年同期と比較して減少している。また、県内の取締り件数と指導警告件数の合計数についても、前年同期と比較して大きく減少している。この傾向は、「青切符」での取締りについて、報道等で大きく取り上げられたこと等により自転車利用者の交通ルール遵守の意識が高まったものではないかと考えている。警察としては、引き続き自転車利用者に対する交通ルールの周知と指導警告、悪質・危険な交通違反に対しては「青切符」も活用した取締りを通じて、自転車に關係する事故の抑止に努める。

委員：塩釜警察署管内の熊の目撃状況について

生安課長：当署に通報のあった目撃情報は、本年7月末現在で利府町が17件、松島町で15件、多賀城市で1件の合計33件の目撃情報が確認されており、塩竈市、七ヶ浜町では目立った目撃情報はない。特に利府町では、菅谷、森郷、沢乙、神谷沢、赤沼地区などの山林、松島町では、幡谷、根廻、桜渡戸地区の山林のほか、手樽地区の用水路沿いで目撃情報が寄せられている。目撃された時間帯で最も多いのが、午後3時台の6件で、次いで午後8時台が4件、18時台の3件などで、そのほとんどが「道路を横切って行った」とか「道路沿いで見かけた」といった主に通行人による目撃情報となる。通報が入った際は、付近のパトロールとみやぎセキュリティメールを活用して、住民の方々へ注意喚起を図り、被害防止に努めている。引き続き、自治体、関係機関と連携しながら、パトロールや情報発信を継続する。

委員：JR多賀城駅前付近に設置されている歩車分離信号の連動が悪く、朝夕の時間帯に渋滞が発生する。歩行者がいないのに歩行者信号が青になっていることが渋滞の原因だと思う。渋滞の解消を願いたい。

交通課長：歩車分離信号には、渋滞の解消のため、歩行者がいるときだけに作動する押しボタンが多く設置されている。JR多賀城駅前の信号に押しボタン信号の設置があるのか、また、実際の渋滞状況を確認して、今後の対応を検討する。